

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	コンビニ（店長）	・単価も売上も上がっている。
		衣料品専門店（経営者）	・農閑期のグループ旅行のための外出着が欲しい、という声や、客の表情から家計の余裕が感じられるため、景気は良くなる。
		衣料品専門店（総務担当）	・株価の底打ち、安心感で宝石等の高額品に動きが出ている。ミセス、婦人服、バッグ等の高級品の売上が期待できる。
		家電量販店（企画担当）	・買物客が増えており、景気が良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・新車の受注台数が増えてきている。
		乗用車販売店（経理担当）	・秋口には新型車が出るため、客の動きが期待できる。
		その他専門店〔医薬品〕（従業員）	・天候が回復すれば売上は前年並みに戻りそうである。
		観光型ホテル（スタッフ）	・秋の予約が、昨年に比べ大幅に増えている。
		旅行代理店（従業員）	・九州に近いアジア地区への旅行の問い合わせが急増している。
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・消費者が買物に対して非常に慎重である。この状態はしばらく続く。
		商店街（代表者）	・先行きが良くなるという話が全く聞かれない。
		商店街（組合職員）	・浸水被害からの立ち直りは商店、住宅とも相当の時間がかかる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・景気が下がる大きなマイナス材料もないが、財布のひもが緩むプラスの材料もないため、このまま推移する。
		スーパー（店長）	・客は儉約指向の徹底が出来ており、横ばい状態が今後も続く。
		コンビニ（エリア担当）	・何も上昇要因が見つからないため、現状のままである。
		衣料品専門店（店員）	・中間所得層の買い控えが今後も続き、景気は変わらない。
		家電量販店（店長）	・家電業界は、今年一杯もしくは来年の始めまで、外部的要因として上向き可能性がない。
		都市型ホテル（副支配人）	・福岡市内でのイベントが増えているのか、2、3か月先の個人客の予約に動きが出てきている。
通信会社（企画担当）	・考え得るだけの商品差別化の手だてを講じたが、効果は少ない。短期的に新機軸を打ち出すことは難しく、ここ数か月のうちの改善は見込めない。		
やや悪くなる	やや悪くなる	商店街（代表者）	・9月、郊外に大型ショッピングセンターがオープンするため、商店街に大きな影響をもたらす。
		商店街（代表者）	・郊外に魅力的で大規模な商業施設が次々と計画されており、更に来街者減が見込まれる。
		百貨店（営業担当）	・家計の影響を受けにくいとされるヤング向け商品の消費が戻ってこない。この傾向は今後も続く。
		スーパー（店長）	・社会保険料の負担増の影響が予想以上に大きかった。12月のボーナスでも同じような傾向が予想されるため、年末商戦は厳しい。
		衣料品専門店（経営者）	・着物業界全体が悪くなっているようである。
		住関連専門店（経営者）	・傷物アウトレット店のチラシが商圏内に多く入るようになった。消費者が買替えをする場合、傷物等で間に合わせる傾向が見られ、一般商品の動きが悪くなっている。
		テーマパーク（職員）	・例年、秋はゴルフ需要が伸びるはずだが、11月のトーナメントチケットの出足が悪く、先行きが不安である。
		住宅販売会社（従業員）	・ローン特別減税に伴う動きが見られなくなり、金利も上向いてきたことから、住宅需要は冷え込む。
悪くなる	悪くなる	一般小売店〔青果〕（店長）	・来月さらに大型店の出店が計画されているため、3か月先も悪くなる。
		百貨店（売場主任）	・8月末から秋物商品の展開を始めたが、例年に比べて非常に悪い。何より入店客数が減っている。この傾向はさらに強くなる。
		百貨店（営業企画担当）	・近隣に西日本最大級の大型店がオープンするため、客数の減少傾向に拍車がかかる。

企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今より受注が良くなる。ただ、百貨店等では家庭用品の売場は狭められており、別の流通ルートを探る必要がある。
		不動産業（従業員）	・賃貸物件の入居率改善など、業績に底打ち感があるという声が取引先から多く聞かれる。
		広告代理店（従業員）	・ここ数か月は前年を上回る受注件数になり、受注価格も折込サイズの型が大きくなったため増えた。この傾向は、今後しばらく続く。
	変わらない	農林水産業（経営者）	・秋の行楽シーズンに期待したい。SARSも解決し、輸入解禁になる。消費が伸びないところに安売りという傾向になるのではと心配している。
		農林水産業（従業者）	・国産食肉の需要は続いており、今後もあまり変わらない。
		建設業（従業員）	・入札制度の改革等により、官公庁工事の受注が厳しく、その反動で民間工事の案件にも業者が集中している。競合は今後も厳しくなる。
		輸送業（総務担当）	・ここ数か月、どの商品も同じような荷動きをしている。今後もあまり変化なく推移する。
	やや悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・減産によるコストアップ、原料価格の上昇、物流費の大幅アップが予想される中、製品価格の大幅上昇は期待できず、厳しくなりそうである。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ある業種では、中国からの輸入を総発注量の30～40%に引き上げるといった話も聞かれ、受注が減る可能性がある。
	経営コンサルタント	・熊本は農業県なので、農産品の出来が景気に大きく影響する。多くの野菜、果物の不作が予想されるため、収穫時期にはさらに厳しい状況が予想される。	
悪くなる	建設業（総務担当）	・公共工事、民間工事ともに発注が少ない。見積りへの依頼も全くなく、今後が不安である。	
	経営コンサルタント	・9月の酒類販売自由化を控え、酒屋のやる気が完全に損なわれている。今後、酒類業界はさらに厳しくなる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・景気が飛躍的に良くなるとは思わないが、年末に向け採用活動が増えてくるようである。事務職より営業職等、企業が外に向けての活動をするという動きがあるため、若干の景気回復はある。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・人材を求める目は厳しく、雇用形態も正社員から流動可能な人材へシフトしている。ただ、採用マインドに明るい兆しが見られ、求人数は増加すると思われる。
	変わらない	職業安定所（職員）	・電気機器製造業において、生産品目がかなりの規模で他地区、他社へ移管しており、今後離職者の発生が懸念される。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・土木工事業者等の自己破産による関係企業への影響が懸念され、今後も雇用状況は悪くなる。
	悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数、売上とも前年を割り込み、例年、秋に活発になる求人にも期待できない。